



## ピロリ菌感染6000万人 がんと胃炎の分かれ道

2010年1月27日放送

### ★ 今回の番組について

ピロリ菌は、胃がんや胃かいようの元凶で、感染者は全国に**6000万人**と言われます。それにもかかわらず、感染者の胃がん発症率が年間1%もないことから「**除菌する必要はない**」とされてきました。ところが去年、日本ヘリコバクター学会が診療のガイドラインを改訂し「**感染者全員の除菌を強く勧める**」としたのです。理由は、除菌に胃がん予防効果があることが、より確実になったから。ただ、全員除菌と言っても、多くの人が胃がんにも胃かいようにもならず一生を過ごしているし、除菌費用も数万円と高い！さて、どうしたものか...？そこで調べてみると、感染者の中でも特に急いで除菌すべき人がいることがわかりました！あなたは急いで除菌すべきなのかどうか？ハッキリさせますよ！

### ★ 番組ディレクターのひとこと

#### 意外と知られてない...

取材を始めて最初にわかったことは「みんなピロリ菌のことなんて知らない...」ということでした。もちろん私も含めて...。街頭インタビューをしてみても知っている人はほとんどいない。ところが専門家に聞いてみると「胃がん発症者のほとんどがピロリ菌感染者。除菌で胃がんを予防し、患者を大きく減らしたい！」と。このギャップが大きかった。

胃かいようの場合も多くの方が痛い時だけ胃薬でごまかして我慢、我慢。でも病院で治療すれば、除菌で完治が見込め、再発もなくなります。しかも、かいよう治療の場合は保険適用。

目立たない菌ですが、見過ごすと損です！

### ★ オープニングクイズ

- ・ 問題：ピロリ菌の研究者マーシャル博士が動物実験で失敗した理由は？  
答え：子ブタが成長した。感染させようとしているうちに成長してしまい手に負えなくなった。
- ・ 問題：ヘリコバクター・ピロリの「ヘリコ」の語源は？  
答え：ピロリ菌の形。ピロリ菌はねじれた形をしている。ヘリコの意味は「ねじれ」。ヘリコブ

ターも同様の語源。

• 問題：ピロリの語源は？

答え：胃の出口付近。ピロリ菌が最初に感染する胃の出口「幽門」のこと。

## 🌟胃かきようの人は除菌

---

胃かきようと言えばストレス！そう思いますよね？

ところが、そうでもないんです。

阪神・淡路大震災の直後、胃かきよう患者が増えました。やっぱりストレスが...と思いきや、神戸大学医学部附属病院が調査したところ、患者さんの83%がピロリ菌感染者でした。

被災という究極のストレスの中でもピロリ菌に感染していない人はほとんど胃かきようにならなかったということなのです。

実は、胃かきようは、ピロリ菌が胃壁を傷つけ、胃酸に対抗する防御を弱めることが原因となって起きます。防御が弱くなった胃にストレスがかかると防御がさらに弱くなり、胃かきようになるんです。

今では、胃かきようの治療はピロリ菌の除菌が中心です。

この場合は、保険も適用。過去の胃かきようであっても検査で痕跡が見つければ保険が適用されます。胃かきようで悩んでいる人は、すぐに除菌することをおすすめします。十二指腸かきようもピロリ菌が原因ですので、除菌治療で治ります。これも保険適用です。

ストレスが多い人もピロリ菌に感染していれば、いつ胃かきようになってもおかしくありません。早めの除菌がおすすめです。

## 🌟ピロリ菌+〇〇で胃がん増

---

ピロリ菌は胃がんの元凶です。それでは感染すれば、即胃がん？いいえ。感染者6000万人がみんな胃がんになるなんてことはありません。なぜでしょう？

愛知県がんセンターでは、スナネズミにピロリ菌を感染させて胃がんを発症するかどうか実験しました。結果は、一匹も発症しませんでした。

ピロリ菌は、胃壁の細胞を攻撃するので、そのダメージが蓄積して胃がんのベースとなります。でも、それだけで胃がんになることは少ないのです。そこに、発がん物質のようながんを起こす手助けをするものが加わると胃がんになります。

この胃がんを起こす危険性を高めるものが、最新の研究で、三つ明らかになっています。

まず**高血糖**。「ピロリ菌感染+高血糖」の人は、「ピロリ菌なし+血糖正常」の人の4倍、「ピロリ菌感染+血糖正常」の人の2.2倍胃がんになりやすかったのです。

次に**喫煙**。「ピロリ菌感染+喫煙」の人は、「ピロリ菌なし+非喫煙」の人の11倍、「ピロリ菌あり+非喫煙」の人の1.6倍胃がんになりやすいのです。（調査：九州大学大学院 清原裕 教授）

最後に**塩分のとりすぎ**。これはスナネズミの実験ですが、「ピロリ菌感染+がんになりやすい薬+塩分

とりすぎ」のネズミは、「ピロリ菌+がんになりやすい薬+塩分正常」に比べて3倍も胃がんになったのです。（実験：愛知県がんセンター）

高血糖、喫煙、塩分とりすぎの方、ピロリ菌の検査、除菌をすぐに考えた方が良いでしょう！

## ★除菌したのに胃がん？

---

「除菌したから胃がんにはならない。これで安心！」

そう言いたいところですが、そうではないことも…。

ピロリ菌は、まだ免疫力が弱い5歳くらいまでの子どもの頃に感染します。一度感染すると、除菌しない限りほぼ一生涯感染し続けます。胃壁を攻撃され、**ほぼ全員が慢性胃炎**となり、そのまま攻撃が続くと胃壁が薄くなる**萎縮性胃炎（いしゆくせいいえん）**になります。この**萎縮が進むほど胃がんの危険が増します**。

高齢になってから除菌した場合、胃がんになる危険度は下がりますが、ゼロにはなりません。長年蓄積された胃のダメージが残るからです。除菌後も、きちんと医師と相談の上、**胃がん検診を続けるようにして下さい**。



Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved.  
許可なく転載することを禁じます。